

## 家庭学習ってなぜ大事なの？

子供たちの学力の向上には、主体的に学習に取り組む態度の育成とても重要です。

子供の自ら学ぶ力を伸ばすために、時間を有効に使い家庭学習を充実させましょう。

## 家庭学習は、どれだけしたらいいの？

めやすは、『10分×学年』です。意欲があればもっとしてもかまいません。一日の中で、一定の時間、毎日継続して取り組むことがポイントです。量や内容は学年や個人に応じて決めるとよいです。



荻生小学校では、子供たちが自分で学習を進められる力を身に付け、学力を高められるように自学ノートに取り組んでいます。全学年共通の意識をもって取り組めるよう、目標を5冊に統一しています。また、達成した後も意欲が継続するよう、10冊のダブル達成賞、15冊のトリプル達成賞を設けています。達成した子には、大きな「金メダルシール」を校長先生より授与しています。



## 家庭学習の進め方

- ①宿題をする。
- ②「自学ノート」に取り組む。(学年に応じた内容で、ていねいに書く。)
- ③次の日の準備(鉛筆を削る、教科書や持ち物の準備)をする。

## 家庭学習のための約束事・心がけ



### 子供との約束

- ①勉強に向かう心構えをしっかりとつくりよう。(学習の目当てをもとう)
- ②時間を決めて、毎日取り組もう。(「10分×学年」以上)
- ③「ながら勉強」はやめよう。(テレビを見ながら、おやつを食べながら)
- ④机の上をきれいにしてから始めよう。(遊び道具を置かない)

### 保護者の働きかけ

子供の「自ら学ぶ力」を伸ばすには、家族の関わりがとても大切です。

- ①子供のがんばりを認めて、意欲を高める。  
(ほめる、励ます、丸付けやコメントを入れる など)
- ②親子の触れ合いの場にする。  
(一緒に考えたり調べたりする、親子読書 など)
- ③学習しやすい環境づくりをする。  
(テレビを消す、学習する時間を一緒に決める など)

## 一日の生活リズム・生活習慣を大切にしましょう!

### 生活のリズムを整える

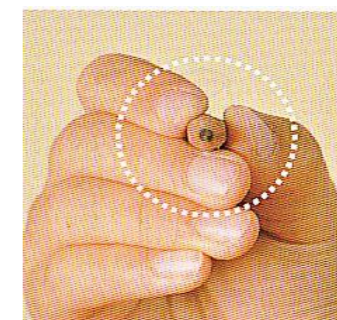
- ◎「早寝」「早起き」「朝ご飯」の生活リズムを身に付けましょう。
- ◎「十分な睡眠をとる」ことが特に大切です。

### 生活をコントロールする力を身に付ける

- ◎家庭での時間の使い方を工夫し、生活を自分でコントロールすることが大切です。
- ◎ゲームやインターネット利用の時間を親子で話し合って決めましょう。
- ◎時間や場所を決めて学習しましょう。

### 正しい箸や鉛筆の持ち方を身に付ける

家庭でも、箸や鉛筆を正しく持つ習慣を付けましょう。





## こんな一言を

- 【1・2年生】※がんばったことをほめてほしいと思っています。
  - ・国語の教科書の音読を聞かせて。上手になったね。
  - ・一緒に九九を言ってみよう。すらすら言えるようになったね。
  - ・できることが増えたね。
- 【3・4年生】※何にでも興味を示し、好きなことに熱中します。
  - ・計算が正確になってきたね。
  - ・約束を守ってゲームの時間をがまんできたのはえらいね。
  - ・好きな教科は何か。どんなところが好きなの。
- 【5・6年生】※自主性を尊重した言葉がけが必要です。
  - ・自分から進んで、学習を始めることができたね。
  - ・計画通りにがんばっているね。
  - ・毎日の学習は着実に自分のためになっているね。
  - ・難しい課題に挑戦しているね。

## 親子で確認してみよう。☑

主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう、家庭での生活について親子で確認してみよう。☑



- 起きる時刻を決めていますか。
- 寝る時刻を決めていますか。
- 朝食をしっかり食べていますか。
- 今、学校でどのような学習をしているかを知っていますか。
- どのような学習用具(筆箱・ノート等)を使っているか知っていますか。
- 読書をする習慣が身に付いていますか。
- 時間や場所を決めて学習していますか。
- 宿題をしていますか。宿題+自学ノート(復習)+読書
- 家庭学習について声かけしていますか。
- 将来の夢や目標について話し合っていますか。
- ゲームやインターネット利用の時間を決めていますか。
- お子さんのインターネットやスマホの利用の様子について理解していますか。

## 保護者の関わり方や学習例



### ホップ

### 子供に寄り添って、やる気をおこす

- できるだけ一緒に過ごしましょう。(できないときは後で声かけを)
- がんばっていることやよいことをほめ、やる気を高めましょう。

- 例
- ・漢字や計算の練習に繰り返して取り組む。
  - ・言葉のまとまりに気をつけて、はっきりした声で教科書の音読をする。
  - ・かけ算の定着を図るために九九の練習をする。
  - ・都道府県名を漢字で書く。・授業で習ったことをノートに書く。
  - ・想像力を豊かにするために読書をする。
  - ・集中力を付け、文章の構成を理解するために教科書を写す。
  - ・一人一台端末を利用して、ドリル問題で理解度を確かめる。 など



### ステップ

### 認めて、ほめて、自信をつける

- 努力していることを認め、温かい励ましの言葉で自信を付けましょう。

- 例
- ・算数の文章問題を考え、家族や友達に出題し、答えを説明する。
  - ・地図記号を使って、自分で地図を書いてみる。
  - ・言語の力を身に付けるため、国語辞典に慣れ親しみ意味調べをする。
  - ・正答できなかったテストの問題をもう一度やってみる。
  - ・授業のノートを写して復習する。
  - ・社会や理科で興味がわいたことをインターネットで調べてまとめる。 など



### ジャンプ

### 見守って 伸ばす

- 子供の話をよく聴き、自ら進んで取り組んでいる姿や、計画的に取り組む姿を認め、励まし、主体性を育てましょう。

- 例
- ・授業の復習をし、苦手なところをもう一度確認したり、自分でまとめたりする。
  - ・熟語を使えるようにするために短文づくりや、作文、お話づくりなどをする。
  - ・読解力を身に付けるために読書をする。
  - ・資料や一人一台端末を活用して人物調べをして、歴史学習の知識理解を深める。
  - ・正答できなかったテストの問題をもう一度やってみて、自分で問題を作る。 など

